

高校出張講義実施概要

氏 名	亀田 貴雄
学科・コース（主担当）	地球環境工学科・環境防災工学コース
職名	教授
授 業 題 目	雪氷学入門
授 業 内 容	雪氷学（せっぽうがく）とは寒冷地の自然を特色づける雪と氷に関する学問です。北見工業大学社会環境工学科では2年生の必修科目として雪氷学（担当：亀田）が開講されています（1回当たり90分×15回）。この授業は雪氷学の入門として、大学での雪氷学の講義で最も重要な点をわかりやすく説明します。具体的には、氷の性質、雪結晶の形、積雪の特徴、氷河・氷床、土の凍結（凍土・凍上）、海の氷（海水）、雪氷防災（雪崩、吹雪など）、宇宙の氷について説明をします。この授業を履修すると、北海道では身近な雪と氷についての基礎知識に加えて、氷河や氷床、宇宙の氷などについても知識が深まります。
簡単な実験 を行う場合 はその内容	
授業に使用する機材 （高校が用意するもの 等）	プロジェクタ、プロジェクタとPCをつなぐケーブル、スクリーンを用意してください。PCと指示棒（LED）は持参します。
備 考	担当者の大学での講義や会議に関連して、実施可能な曜日を指定する場合があるので、複数日を提案していただけると良い。講義時間は90分必要です。授業時にはパワーポイントを印刷したものを生徒さんに配布するので、その印刷をお願いします（白黒でOK）。

※実施時期は、概ね7月から11月の期間とします。